

環軸椎亜脱臼、齒突起後方偽腫瘍など

関節リウマチに頸椎病変を合併することが多く見られます。このうち環軸椎亜脱臼には環軸椎固定術が必要となります。環軸椎後方脱臼、垂直脱臼、齒突起形成異常など強い不安定性のある場合や脊髄の圧迫を開放するため環椎後弓切除が必要な場合には後頭頸椎間固定術が適応となります。



図 1、環軸椎固定術



図 2、後頭頸椎間固定術